

昭和医科大学烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕 病 院 長 真田 建史

〔編集責任者〕 広報委員長 真田 建史

〔住所〕 〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕 03-3300-5231(代表)

第 2 2 3 号

〔 2 0 2 6 年 3 月 2 日 〕

地域精神科身体合併症救急連携事業

地域連携会議・精神疾患対応力向上研修の開催

総合サポートセンター 近藤 周康

昭和医科大学烏山病院は、身体症状とともに興奮や疎通不良などの精神症状が見られるなど、一般診療科における医療処置が困難な精神身体合併症患者に対し、迅速かつ適正な医療を確保することを目的に、精神科病院における相談・受入の窓口として、東京都からの委託を受け、地域精神科身体合併症救急連携事業を行っております。

事業の内容といたしまして、東京都西南部、南部の地域救急会議の参加、地域の精神科と一般身体科における医療機関相互の連携体制を構築及び強化を図るため、医療機関の方々を対象に年に1度の「地域連携会議」と「精神疾患対応力向上研修」を開催しております。

今年度は、2026年2月19日に当院にてWEBと対面のハイブリットでの開催をいたしました。

地域連携会議では、東京都と6つの医療機関と関係機関が参加し、今年度の精神疾患に関する救急受け入れ状況の情報共有、課題の共有がなされました。

その後、帝京大学医学部救急医学講座の三宅康史客員教授をお招きし、「精神身体合併症例におけるPEECコース研修の役割」というテーマで精神疾患対応力向上研修を実施しました。

PEECコースとは、精神科的問題を有する救急患者に標準的な初期診療を提供するために、救急医療スタッフとして必要な医学的知識、接遇法、入院管理、リソースの有効活用、外来フォローアップへのつなぎ方等、コースを通して身につけることを目標としたものです。

当院の医師、看護師、精神保健福祉士をはじめ、他の医療機関のスタッフも参加しました。地域全体として、精神疾患をもつ患者さんが安心して治療ができる医療機関を目指し、今後も研鑽して参ります。



左から三宅客員教授（帝京大学） 真田病院長

関東ブロック DMAT 訓練に参加

精神科 杉田 秀太郎

令和8年1月31日（土）に多摩東部直下地震を想定した、関東ブロックの各都県 DMAT や関係機関との連携による病院支援及び医療搬送等の訓練が実施されました。

この訓練に、昭和医科大学烏山病院の DPAT 隊が参加しました。

DMAT とは

大地震や風・水害などの自然災害のみならず、車両などの多重衝突事故、航空機の事故、列車の脱線事故などあらゆる災害で、多くのケガ人の発生が予測される場合に派遣され、現場に迅速に到着して医療を提供します。

発災直後に現場に急行して、トリアージ・緊急治療を行う現場活動のほかにも、被災地域内の医療機関や災害現場等において、災害対策本部の指揮支援、被災医療機関で対応が困難な患者さんの患者搬送、その他被災状況や等の情報収集・共有を行います。

DPAT とは

自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う専門的なチームです。

本訓練は、地震発生翌日を想定し、東京都から各医療圏の活動拠点本部に参集要請を基に、参集するものでした。

当院は、北多摩南部の都立多摩総合病院に参集要請がそちらに出勤しました。

活動拠点本部にて、各病院の被害状況を広域災害救急医療情報システムから情報収集をして、精神科病院への支援が必要かどうかの検討、DMAT 隊と連携し、患者搬送等の調整、現場での被害状況確認・本部報告を行いました。

今回の訓練では、病院に赴き、病院職員から被害状況の確認、DPAT 隊による患者搬送の必要性についての有無を判断し、本部へ報告するなどより忠実に被災地域を想定し、実働を伴った訓練でした。

昨今、関東地方で大規模な地震が発生すると言われて、皆さんも不安に思うこともあると思います。

こうした訓練は東京都だけでなく、全国的開催され、全国の医療機関がこうした災害を想定した訓練に参加しております。能登半島地震があった際も、全国から DAMT 隊や DPAT 隊が派遣されました。

もし、関東地方で大規模な地震が発生し、当院が被災したとしても、今回のような訓練に定期的に参加しているため非常事態でも対応できるスタッフが勤務しております。また、全国からも支援が受ける準備もしております。安心して治療を受けられる環境づくりをしておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



訓練中の様子

防災訓練を実施

事務課 石川 智貴

令和8年2月9日に烏山病院にて防災訓練を実施しました。当院では、年2回訓練を実施しております。

この訓練は、全部署を対象に病院全体で取り組んでおります。前回の訓練を反省として、各部署からの状況報告の迅速化を目指し訓練を実施しました。当院を管轄している成城消防署烏山出張所の職員の方にも来ていただき、訓練の評価をしていただきました。

こうした、訓練を定期的実施し、患者さんの皆さんが安心して診察を受けられる環境を作っております。



災害対策本部訓練の様子



訓練中の様子

ひな人形を飾ってます！

デイケアのプログラムの一環で、ひな人形を飾っております。何段もある大きなものになっており、見ごたえのあるものになっております。

3月12日まで飾っておりますので、ご興味のある方はぜひご覧ください。

また、こちら毎年飾りつけを行っておりますので、今年度見られなかった方は、2月の中旬から3月上旬まで飾っております。



デイケアプログラムで飾りつけをやっている様子



飾りつけが行われたひな人形

2025年の年末にデイケアでクリスマス会が行われました。特にビンゴとゲームの時間が盛り上がった印象でした。

ビンゴの時間では太田晴久先生が来てくださり、数字の代わりに太田先生が過去に渡したり、もらったりしたことがあるプレゼントを予想し書き込んでビンゴを行いました。ビンゴが揃った人からおかしをすくい取り、景品としてもらえました。

ゲームの時間ではスーパーファミコンのマリオカートの対戦が行われ、やったことがない人もやったことある人も、二人プレイで白熱した試合が行われていました。ゲームの時間が終了した後もまだ交代でゲームが続いていたので、やりたい人が多く盛り上がったのではないかと思います

自分はデイケア向上委員会という企画側の立場で参加しました。前日まではクリスマス会があることの告知や、クリスマスツリーに飾るリースなどを作るワークショップの開催、当日はケーキの配膳などをしました。これからも参加者が楽しく参加できるようなイベントを実施できるように頑張りたいと思います。(S.O)



◀ 1月 ▶	入院(前月)	外来(前月)
◆延患者数	8,762(8,724)	6,249(6,642)
◇一日平均患者数	282.6(281.4)	271.7(276.8)
◆診療実日数	31(31)	23(24)

総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

診察時間：月曜日～土曜日 8時30分～17時

電話：月曜日～土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～土曜日 8時30分～14時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。こちら鳥山病院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。



鳥山病院精神医学講座インスタグラムが開設されました。

随時情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願いたします。



【編集後記】

冬の寒さも和らぎ、少しずつあたたかな陽射しが差し込む日が増え、春の訪れを感じる季節となりました。3月は、年度の締めくくりであり、別れの季節であるとともに、新たな年度を迎える準備の月でもあります。

環境の変化に対するわくわくした気持ちや不安、緊張など、みなさまそれぞれさまざまな思いを抱いておられることと思います。

忙しい日々が続きますが、ときに休息をはさみながらコミュニケーションを大切にし、引き続き多職種間で支え合い、よりよい医療・看護の提供に取り組んでいけたらと思います。

また、今年度も院内ではさまざまな取り組みが行われました。その一部ではありますが、「あおぞら」を通して、院内での活動をみなさまと共有できたことを嬉しく思います。

まだ十分にお伝えできていない活動や場面も多くありますが、今後も広報を通じて、職員の皆さま、患者さま、ご家族さまに当院の魅力を感じていただければ幸いです。

今年度もありがとうございました。

広報委員 原田 真帆